

(様式7)

## 公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成24年09月28日)

事業コード	H24-建-継-4		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	1次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道101号		担当課長名	阿部 喜巳
箇所名	能代市須田		担当者名	齋藤 篤
総合計画との関連	政策コード	10	政 策 名	交通基盤の整備
	施策コード	02	施 策 名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県管理国道の整備推進

## 1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H25 (6年)		総事業費	11.5億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=1,760m、幅員 W=6.5(9.5)m (1.5-3.25-3.25-1.5)						
事業の立案に至る背景	○当該路線は、青森市を起点とし男鹿市を経て秋田市に至る幹線道路であり、日本海側を縦断的に結び青森県沿岸部と産業・経済の地域間交流を促進するほか、男鹿国定公園や世界遺産白神山地などの観光拠点を連絡する観光道路としての機能を有する重要な路線である。当該区間は、通学路及びバス路線に指定されるなど地域内交通を支える生活道路にもなっているが、幅員狭小(Wmin=5m)のため、安全な交通を確保できていない状況である。このため、広域的な幹線道路としての円滑な交通流動と、地域住民の安全を早急に確保するものである。						
事業目的	○道路防災対策・危機管理の充実(第2次緊急輸送道路) ○交通の隘路区間(幅員狭小、線形不良)の解消 ○高速ICへのアクセス機能強化(能代南IC) ○地域住民、道路利用者の安全確保						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	1,150,000	1,150,000	0			
	経費内訳	工事費	846,000	846,000	0		
		用補費	162,000	162,000	0		
		その他	142,000	142,000	0		
	財源内訳	国庫補助	575,000	805,000	230,000		
		県債	258,000	310,000	52,000		
その他		0	0	0			
一般財源	317,000	35,000	-282,000				
事業内容	調査・設計、改良工、舗装工			国の制度改正により、国庫補助率が変わった。			
事業の進捗状況	○用地買収(進捗率99%)及び改良工事を進めている。 ○事業進捗率54%(平成23年度末)						
事業推進上の課題	○特になし。						
関連する計画等	○ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急ネットワークの整備」を支援する事業						
情勢の変化及び長期継続の理由	○山本組合総合病院が災害拠点病院として指定された。 ○H5.3.17 能代南ICの供用開始。 ○H5.12.11 白神山地が世界遺産として登録された。						
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良済延長/路線実延長					
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無		
	目標値 a	93 %		データ等の出典	道路課調べ		
	実績値 b	94 %					
達成率 b/a	101.1 %		把握の時期	平成24年4月			

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	○当該区間は幅員狭小 ( 車道幅員 5 m ) で、冬期堆雪幅が無く、1 年を通じた交通の安全確保が望まれる。 ○過去 5 年間では重傷事故が 3 件発生している。	7 点
緊 急 性	○ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急ネットワークの整備」に位置づけあり。	5 点
有 効 性	○第 2 次緊急輸送道路であり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画上重要な路線である。 ○男鹿半島・白神山地等の沿岸部の観光拠点を結ぶ広域観光ルートである。 ○日本海沿岸東北自動車道 ( 能代南 I C ) へのアクセス道路として活用が見込まれる。	28 点
効 率 性	○事業の費用対効果比は 2. 0 であり効率性は高い。 ・総便益の現在価値 26 億円 ・総事業の現在価値 13 億円	20 点
熟 度	○用地買収の進捗率は 99% で概ね完了している。	18 点
判 定	ランク ( <input type="radio"/> I <input checked="" type="radio"/> II <input type="radio"/> III ) 事業箇所としては優先度は高く、事業は引き続き実施すべきである。	78 点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 ( 対応方針 )

引き続きコスト削減に努めながら、事業を継続する。
--------------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価

事業コード(H24-建-継-4)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (能代市須田)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題	・車道幅員<5.5m	3箇所以上	8	5	2次改築事業については該当しない。
		・最小半径<100m	2箇所	5		
		・最急勾配>5%	1箇所	3		
		・冬期堆雪巾なし	0箇所	0		
		・冬期堆雪巾なし	0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	・現道の混雑度 $\geq 1.0$	5件該当	7	2	2次改築は配点15点 2次改築は配点12点 2次改築は配点10点 2次改築は配点8点 2次改築は配点4点
		・現道の旅行速度 $\leq 30\text{km/h}$	4件該当	6		
		・現道の事故率 $\geq 50$ 件	3件該当	5		
		・通学路指定で歩道なし	2件該当	4		
		・重大交通事故が発生	1件該当	2		
計	該当項目なし	0	15	7		
緊急性	道路をとりまく環境等 関連事業の有無	・県の主要プロジェクト	あり	5	5	
		・地域振興プロジェクト	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	0	0	
		位置づけなし	0			
	特有の課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり	5	0	0	
計	なし	0	15	5		
有効性	道路の位置づけ	緊急輸送路	第1次輸送路	10	8	
		第2次輸送路	8			
		第3次輸送路	6			
		指定なし	0			
	県内90分交通体系、全国1日交通圏等に	あり	10	10	10	
なし		0				
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	6	10		
	低下傾向	6				
計	必要性が低い	3	30	28		
効率性	事業の投資効果等	費用便益比(B/C)	1.0以上	5	5	
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	5	
		1,000台/日以上5,000台日/未満	0			
	コスト削減	あり	5	0	5	
なし		0				
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	5	etc 大規模バイパス	
計	既投資額の部分的損失	4	3	20	20	etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅
熟度	事業の進捗進捗状況	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	8	
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
			未着手	0		
用地買収の進捗(面積)	8割以上完了	10	10	10		
	5割以上完了	8				
	1割以上完了	5				
	1割未満	2				
	未着手	0				
計		20	18			
合計			100	78		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	II	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		